

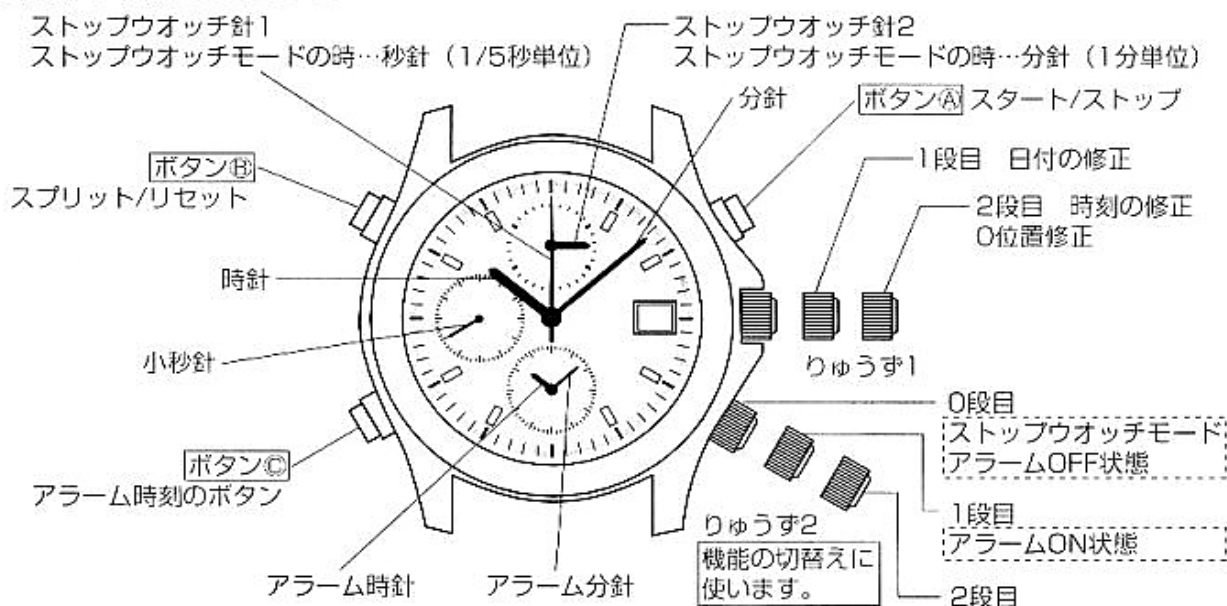
取扱説明書 894型 完成品

[1] 特 徴

多軸(多針)表示による ストップウォッチ機能、アラーム機能を持った アナログクォーツです。

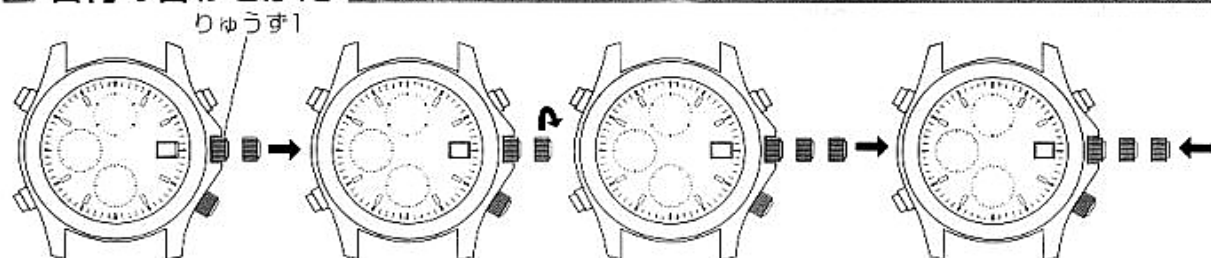
- ・現在時刻を時針、分針、小秒針で表示します
- ・ストップウォッチは1/5秒単位で30分まで計測します。
- ・セットした時刻になると アラーム音で知らせる 12時間制アラーム機能付です
- ・カレンダー付です
- ・電池寿命が終わりに近づくと 小秒針が2秒間隔に動いて知らせてくれます

[2] ●各部の名称とはたらき



[3] 使用方法

■ 日付の合わせかた



①りゅうず1を1段引き出します。
※この時計のりゅうずは2段に引けます。

②りゅうずをまわして前日の日付にセットします。

③りゅうずを2段目まで引き出して今日の日付になるまで針をまわします。

④時刻合わせがすみましたらりゅうずをもとの位置まで押し込んでください。

※午後9時～午前1時までには日付を合わせないでください。この時間帯に日付を合わせますと、翌日になっても日付が変わらないことがありますので、この時間外に針を動かしてから日付を合わせてください。

時刻の合わせかた



①リューズ1を2段目まで引き出すと小秒針が止まります。小秒針は60の位置に止めてください。

②リューズをまわして針を合わせます。分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆にもどして合わせてください。

③時報と同時にリューズをもとの位置まで押し込んでください。

※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL117が便利です。

アラームの使いかた

●12時間制で1分単位までセットできます。

アラームを使用する前にアラーム針を現在時刻に合わせます。

アラーム時刻のセット



リューズ2を2段目まで引き出して、リューズをまわして、アラーム針を現在時刻に合わせます。合わせ終わったら、リューズをもとの位置まで押し込んでください。

※リューズ2を2段引き出すと、約1秒間警告音が鳴ります。警告音が鳴り終わると、あらかじめセットしてあったアラーム時刻はキャンセルされます。(ただし、鳴っている最中にリューズをもどせばキャンセルされません。)



リューズ2を1段引き出すとアラームONの状態になります。このとき、ボタンCを押して、アラームを鳴らしたい時刻にセットします。ボタンCを1回押すと1分ずつ進み、押し続けると早送りできます。

アラームONとOFF

アラームのON、OFFはリューズ2で行ないます。

リューズ2が0段目の時はアラームOFF、1段目の時はアラームONの状態になります。

(アラームON)



(アラームOFF)



※アラームはセットした時刻に約20秒間鳴ります。

※アラーム音を途中で止める場合は、ボタンA・B・Cのいずれかを押すか、リューズ2をもとの位置に押し込んでください。

■ ストップウォッチの0位置修正

● ストップウォッチ針の0位置がずれてしまった場合

……（リセットしても0位置に戻らない場合）



※ボタンを押し続けると、針を早送りできます。

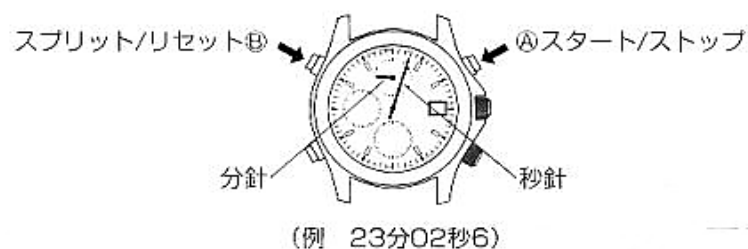
※リューズ1を2段目まで引き出している間、時間が止まりますので時刻合わせをしてください。

■ ストップウォッチの使いかた

● 1/5秒単位で最大30分まで計測可能です。※針が0位置に合っているか確認してください。

※ストップするのを忘れた時は、ストップウォッチが作動してから6時間後に自動的にストップします。

〔ストップウォッチの読みかた〕



〔普通の使い方〕

ボタンを押す順序 A→A→B

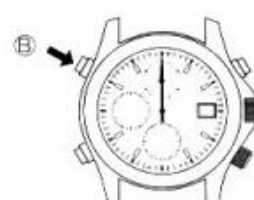
スタート

ストップ

リセット

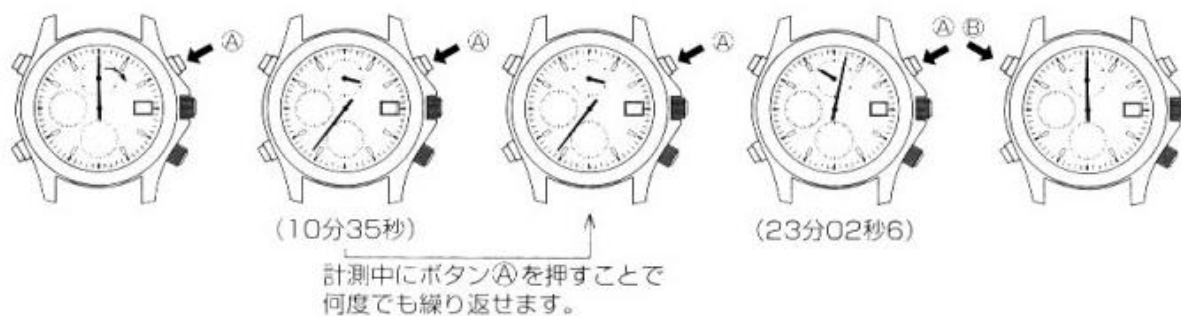


(23分02秒6)



〔時間計測を積算で行なう場合〕 ボタンを押す順序 A→A↔A→A→B

スタート → ストップ → 再スタート → ストップ → リセット



〔途中経過時間(スプリットタイム)を測る場合〕 ボタンを押す順序 A→B↔B→A→B

スタート → スプリット → スプリット解除 → ストップ → リセット



〔2人のタイムを測る場合〕 ボタンを押す順序 A→B→A→B→B

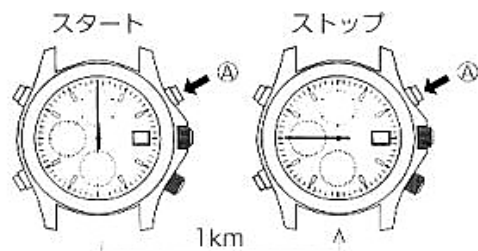
スタート → 1位ゴール 1位タイム → 2位ゴール → 2位タイム → リセット



=タキメーター(TACHYMETER)がついている場合=

●単位時間あたりの時速や出来高などが簡単に測定できます。

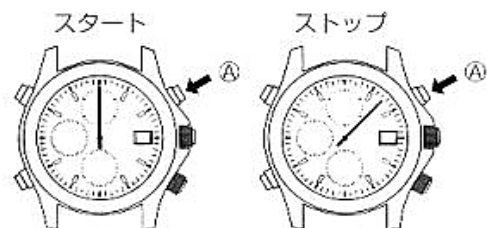
時速を測定する場合



- ①1km走るのに要した時間を計測します。
- ②秒針が指しているタキメーターの数字を読みとります。

80km/時

1時間あたりの出来高を求める場合



- ①製品1個が出来あがるのに要した時間を計測します。
- ②秒針が指しているタキメーターの数字を読みとります。

400個/1時間あたり

ストップウォッチ作動中にリゅうず1を2段引き出したり、リゅうず2を1段目や2段目に動かした場合、ストップウォッチは停止し、針が0位置に戻りますのでご注意ください。